

令和6年度 第1回豊川市公園施設等利活用・適正化計画策定委員会

議 事 録

■ 日 時 : 令和6年9月26日(木) 15時00分~16時00分

■ 場 所 : 豊川市役所 本34会議室

■ 次 第

1. あいさつ
2. 委員長の選出
3. 副委員長の選出
4. 豊川市の公園等の概況について(参考資料)
5. 議題
 - (1) 豊川市公園施設等利活用・適正化計画の概要(資料1)
 - (2) 計画策定のスケジュールについて(資料2)
 - (3) 市民アンケートについて(資料3)
6. その他

■ 出席者

(1) 委員

氏 名	所 属	役 職	備 考
岡 本 肇	中部大学工学部都市建設工学科	准教授	学識
白 井 直 之	岐阜市立女子短期大学デザイン環境学科	専任講師	学識
落 合 利 夫	豊川商工会議所 建設関連部会	部会長	商工業
猿 渡 裕 子	特定非営利活動法人 とよかわ子育てネット	理事	児童福祉
大 木 健	豊川市連区長会	会長	町内会
市 川 勝 久	豊川造園建設共同組合	理事長	造園

(2) オブザーバー

氏 名	所 属	役 職	備 考
粟 田 雅 貴	愛知県都市・交通局都市基盤部 公園緑地課	課長	オブザーバー
岩 田 勝 則	愛知県東三河建設事務所 都市施設整備課	課長	オブザーバー

(3) 事務局

氏 名	所 属	役 職	備 考
田 中 義 章	豊川市副市長	副市長	豊川市
山 本 英 樹	都市整備部	部長	豊川市
田 中 良 生	都市整備部	次長	豊川市

松原 太郎	公園緑地課	課長	豊川市
宇都野 友一	公園緑地課	課長補佐	豊川市
亀井 真人	公園緑地課 公園管理係	係長	豊川市
成瀬 庸孝	公園緑地課 公園整備係	係長	豊川市
吉川 斉児	株式会社 間瀬コンサルタント	—	
植松 孝太	株式会社 間瀬コンサルタント	—	

■ 議事概要

4. 豊川市の公園等の概況について（参考資料）

事務局	(資料説明)
副委員長	参考資料 P.9 において、公園の維持管理費が増加しているとのことですが、人口は年々減少している状況であります。なぜ維持管理費が増えているのでしょうか。
事務局	施設の老朽化や樹木の剪定費用、また、巨木と化していることも維持管理費増加の要因のひとつであります。
副委員長	樹木は大きくなりすぎると管理費も増すのでしょうか。
事務局	例えば樹木が密集している場合、日光を遮る大きい木があると、他の木の成長に悪影響となってしまうので、伐採の対象となります。
副委員長	文化財が50年を超えると登録できるように、年数が経つことを価値や魅力と捉える視点もありますが、本計画ではどう捉えていくのでしょうか。
事務局	年数が経つとその分、愛着や思い入れが生じてきますが、開園当初の方針と現在求められている公園施設には相違があるため、現在のニーズに合わせていきたいと考えております。
委員長	現地調査が夏(7月)に実施されたことが気になります。この現地調査は今後継続的に実施する予定ですか。
事務局	今後、現地調査を実施する予定はありません。この現地調査はビックデータの信ぴょう性を説明する目的で行った補完的調査です。
委員長	面積の小さな公園では、ビックデータで抽出できるデータが少なくなる

傾向があるため、現地調査を行なうことでその整合性を確認するためという事でよろしいでしょうか。

相違がある場合は、秋頃の調査を検討してください。

事務局

承知しました。

5. 議題

(1)豊川市公園施設等利活用・適正化計画の概要（資料1）

事務局

（資料説明）

副委員長

資料1のP.1において、選べる公園とありますが、どのような公園が選ばれる公園なのでしょう。

事務局

現状として公園機能が重複しています。また、最近実施した公園ワークショップでは、健康づくりや歩ける公園が欲しいという意見があり、地域ごとにもそのニーズは変わってくると思われま。したがって、地域に合った公園づくりが選ばれる公園に繋がると考えております。

副委員長

子どもなりに公園を選択しているように思えますが、子どもが行きたがるもしくは親が連れていきたくがる公園とは、どのような公園でしょうか。

委員

子供は飽きない滑り台や砂場がある公園に行きたくなりますが、大きくなるとボールが使える広い公園に行きたくなると思います。中学生になるとそもそもあまり公園には行かなくなると感じています。

また、親としては日陰やトイレがあると安心します。

委員長

ライフステージごとに公園に求めるもの（選ぶ基準）が異なる・変わるのが難しい点です。

副委員長

地域ごとでも変わると思われます。

委員長

では、総じて今回の計画の落としどころは、どこにするのでしょうか。

事務局

地域によって公園数が異なっているため、公園が集積している地域はライフステージごとの役割を持った公園整備をした方が良くと思います。

副委員長

資料1のP.1において、長期的に安定した維持管理とは具体的にはどのような状態でしょうか。

事務局	維持管理の改善として、重複する公園機能の見直しや、草刈の処理費用も大きいと、草が生えにくい公園に整備することも考えられます。
副委員長	維持管理を市だけが行なうのではなく、NPO 法人や自治会に託すのも選択肢だと思います。費用対効果で見るとこれは微々たるものと思われてしまう可能性もありますが、公園でのコミュニティが形成され、地域のネットワークが広がる可能性も秘めています。 また、街区公園でも自治会などの導入可能性を調査しても効果的だと思います。
委員	最近1~2年の間で、少年野球の関係者から、利用できる広いグラウンドがないという声をよく聞いています。さらに、お金がかかってでも野球ができるグラウンドが欲しいとの声を聞くこともありますがいかがでしょうか。
事務局	スポーツ団体が使用するグラウンドは、維持管理がしっかりされています。そのような使われ方も視野に入れていきます。
副委員長	例えばその少年野球チームなど、地域団体へのサウンディングで、どのあたりの公園をどのように使いたいかにヒアリングし、それを計画にすることはどうでしょうか。そのような団体と一緒に公園をつくるための費用の使い方も有効かと思えます。
事務局	市民の方々からは公園を利用した活動がしたいと相談を受けることはあります。そこで維持管理も含めた話し合いができれば効果的だと思います。
委員長	選べる公園はもう少し具体的な説明が必要かと思えます。ライフステージや地域性が異なるため、遊具の有無だけの選択肢ではなく、この公園だから行きたいといった視点を持たせられる機能やコミュニティを考慮して、それが複数選べる状態にある方が生活はより良いものになると思えます。

(2) 計画策定のスケジュールについて (資料 2)

事務局	(資料説明)
オブザーバー	5、10年後の維持管理費として、どの程度が安定すると考えられる金額なのでしょう。また、その金額についてはいつ頃示す予定でしょうか。
事務局	来年度以降で示したいと考えております。

オブザーバー 可能であれば、第2回策定委員会で維持管理費の予測と理想的な金額を示していただきたいと思います。

事務局 承知しました。

委員 金額の内訳を明確にして、年間必ずかかる費用と、見直しする必要のある費用に分けて提示してもらえると分かりやすいです。

事務局 承知しました。

(3)市民アンケートについて(資料3)

事務局 (資料説明)

副委員長 アンケートの設計として、特異点を抽出する目的か、または全体傾向を抽出する目的かのどちらでしょうか。

事務局 市民全体を対象としたアンケートではありますが、小学校区別の集計も可能になるように設計をしています。

副委員長 方向性としては何かに特化した公園をつくることだと思いますが、全体傾向だけでは漠然としたものになってしまう恐れがあります。全体傾向を把握した後に特異点を抽出するような次のステップがあると良いと思いますが、その足掛かりになる質問は含まれているのでしょうか。

委員長 問8の良く利用している公園名とその利用目的を聞く設問が副委員長の発言された次のステップに該当すると思われます。

事務局 問8では公園名を記入する項目になっているので、具体的に把握できると思っています。また、今後、市民アンケートとは別に、町内会長にも聞き取り調査を行うため、個別な意見についても把握していく予定です。

委員長 そもそも公園を再編することが市民にとって望まれているのかを確認することもアンケートの目的のひとつだと思います。

また、問4に関して、年齢の選択肢をさらに細分化するべきだと思いますがどうでしょうか。

事務局 細分化するように修正します。

副委員長	小学生や中高生に向けたアンケートは実施しないのでしょうか。
事務局	今回のアンケートでは、維持管理費や税金面を考慮して回答してもらう設問にしているため、18歳以上を対象にしています。計画策定後において、未成年に対してもアンケートを実施していく方針です。
オブザーバー	先ほどの問4の件ですが、年齢は直接記述してもらい、後ほど事務局でカテゴライズを行なう方式が一番かと思います。 また、公園ユーザーに聞くことが重要であるため、より具体的な意見を聞くために学校へアンケートをお願いするべきとも思います。また、公園を利用しない方に対して、具体的に何があれば利用するのかを聞いてはどうでしょうか。
事務局	問4に関して、承知しました。また、公園を利用しない方に対しては、問12で、何があれば利用したいと思うかを聞きます。具体的に何があるから公園を利用しているかという回答は、その他の項目で把握したいと考えております。
委員	公園で直接アンケートを実施するのはどうでしょうか。このままでは大人の意見が主な公園再編の意見になるため、実際に利用する子供のニーズを明らかにすべきと思いますがどうでしょうか。
事務局	まずは全体傾向を掴むために成人向けのアンケートを行い、今後は、このアンケート結果をもとに、学校や公園でアンケートを実施することで、子供や実際の利用者の声を把握したいと考えています。
委員長	承知しました。問題無いかと思います。
副委員長	そのようであれば私も問題無いと思います。 また、資料3の末にある公園マップの公園種別が分かりにくいので、凡例を見直していただきたいと思います。
委員長	冒頭に説明のあった参考資料より、高齢者の利用が多いことが気になります。高齢者のための公園も考えるべきかと思いますが、アンケートで高齢者ニーズは聞き取れるのでしょうか。
事務局	公園のワークショップでは、高齢者が散歩できる回遊路や、ゲートボールやグラウンドゴルフができる空間が欲しいとの声が挙がっており、アンケートでも年齢は把握できるため、高齢者の意見は収集できます。

事務局	現在のアンケートの選択肢において、高齢者向けの選択肢は十分に用意されていると思いますか。
オブザーバー	高齢者向けの選択肢が不足している印象は受けません。
委員長	公園に行く目的として「スポーツをする」や「孫と遊ぶ」などの選択肢を入れても良いのではないのでしょうか。
委員	問6に関して、「だれと行くか」の回答は1つのみの選択で良いのでしょうか。また、問8に知人とおしゃべりをする目的で公園に行くという選択肢も入れてはどうでしょうか。
事務局	問6はクロス集計を行なうために選択数を1つにしましたが、実態把握をする上では見直す必要があります。また、問17で高齢者向けの選択肢も組み込んでいますが、問8にも同様に反映させるべきかを精査します。
事務局	問8に「友達と話す、会話する」といった項目を追加します。また、問6は複数回答に変更する方向で検討します。
オブザーバー	問17（小さい公園に関する設問）に追加するならば、問15（大きい公園に関する設問）も修正するべきだと思います。
事務局	承知しました。

6. その他

事務局	第2回策定委員会は、来年3月頃実施の予定です。
-----	-------------------------

以上